

## 西東京市総合戦略（素案作成に向けて）

### I 人口ビジョンと総合戦略について

#### <人口減少における認識>

- **西東京市の将来人口は 160,073 人(2060 年、国立社会保障・人口問題研究所推計)**
  - ・西東京市の人口は 2020 年をピークに、今後緩やかに減少に転じ、人口減少社会に突入する予測。
  - ・このまま推移すれば、2060 年には現在（2015 年）より約 2 万人減少する見込み。
- **人口構成では後期高齢者が現在の 2.5 倍に**
  - ・人口構成では、65 歳以上の老年人口が増加し、高齢化率は 2010 年の 21.5%から 2060 年には 39%に上昇。
  - ・特に後期高齢者（75 歳以上）の増加が顕著で、2010 年の 9.8%から 2060 年には 24.9%と 2.5 倍に。
- **出生率は全国より低く頭打ち**
  - ・2013 年の出生率は、本市は 1.24 で、国の 1.43 を下回る。
  - ・東京都や 23 区近隣市よりは高いが、北多摩（東久留米、清瀬市、東村山市、小平市）の中では低い水準で推移。また、最近は東久留米市、清瀬市、小平市の出生率は上昇傾向にある中、西東京市は頭打ちの状態にある。
- **20 代・30 代の転出超過が続く**
  - ・0～4 歳は転入超過。子育て期ファミリーの転入も練馬区などから多い。
  - ・一方、20 代後半から 30 代にかけて若年層が転出超過の傾向で、特に独身層は特別区への転出が多い。
- **少子化、若年層流出、超高齢化の進展でまちの活力低下が懸念される**
  - ・人口減少は緩やかである一方、人口構成は大きく変化する。
  - ・今後、少子化、若年層流出、超高齢化が合わせて進行した場合、まちの活力低下への影響が懸念される。
- **区部・近隣市と北多摩との中間にあって**
  - ・産業集積の区部と住宅都市の北多摩の中間地で、西武線・青梅街道の動脈をいかした広域連携の視点も重要。

#### <人口の将来展望（※仮想）>

本市の現状の人口の姿より、将来めざすべき将来人口の考え方として次のような案が挙げられる。

- ✓ **短期的目標：総合戦略の計画期間最終年となる平成 32（2020）年**
  - 合計特殊出生率の向上を目指し、かつ転出が続く若年層（25～34 歳）の純移動率を±0（転出、転入が同じ）とする。
- ✓ **長期的目標：平成 72（2060 年）**
  - 将来の人口規模は、2 市合併時の 1 8 万 6 千人程度の維持を目指す。

## II 視点について

<戦略のポイントとなるキーワード①>

**多世代の活力をいかす**

<戦略のポイントとなるキーワード②>

**アクセスのよさを強みにする**

(or アクセシビリティを極める)

<戦略のポイントとなるキーワード③>

**切れ目なくつなぐ**

<戦略のポイントとなるキーワード④>

**魅力をつくる**

(or まちの魅力に高める、多彩な魅力を創る)

<戦略のポイントとなるキーワード⑤>

**発想を転換する**

(or 見方やアプローチを変える)

### キーワード①多世代の活力をいかす

- **特徴**：人口規模は北多摩 5 市の中で最も大きく、人口構成もバランスが取れ、将来の人口減少率も比較的緩やかに推移すると予測されるなど、多世代が集住する都市として人口面での優位性を有する。
- 今後、人口減少社会の中で課題とされる「まちの活力」を高めていくために、若年層、女性、働き盛り世代、高齢者など、「多世代の希望や活力」をいかしたまちづくりをすすめ、まちの活力の維持・増進につなげる必要がある。

### キーワード②アクセスのよさを強みにする

- **特徴**：市内には鉄道 2 路線 5 駅や街道があり、市域の約 8 割の地域が駅まで 15 分以内など、都心・近隣市・市内のアクセスのよさが特徴であり、「行動や活動がしやすいまち」としてのポテンシャルを有する。
- また、居住地選定の理由の第 1 位もアクセスのよさであり、市民も通勤・通学に一定の時間距離があることを許容しつつ、アクセスをいかしたライフスタイルを構築・志向していると考えられる。
- アクセスのよさを「おでかけ・出歩き・立ち寄りがしやすい」という提供価値とするとともに、生活関連及び行政の各種サービスへのアクセシビリティもあわせて高めるなど、“アクセスのよさ”をまちのイメージや強みとしていくことが重要である。

### キーワード③切れ目なくつなぐ

- **特徴**：西東京市でのライフコースは、若者は結婚を機に転出、女性は出産を機に離職、転出入者は地域コミュニティとの関係が途絶しやすいなど、様々な「切れ目」が生じやすいと考えられる。
- 一方、西東京市の都市イメージとして評価の高い「まちなかの自然（公園、農地等）が豊か」も、必ずしも公園や農地の面積が広いわけではなく、市内に分散し、かつ農地・農業者も減少している。

- こうしたライフコースや地域資源の「切れ目」を、産官学金労言、関係団体・機関、近隣市などとの連携、市民参画、既存資源の複合化や付加価値化など、さまざまな“工夫”によってつなげることが重要である。

#### **キーワード④魅力をつくる**

- **特徴**:北多摩5市と同様に都心に近い住宅都市の性格を有するとともに、商業や産業の集積都市、教育・学習都市として23区近隣市に近い顔もあわせもっている。
- また、各種指標も、近隣市の中で1位指標は少ないものの、上位にあるものも多く、都市環境水準は高い。
- 「住みたい」「訪れたい」「住み続けたい」気持ちを高め、交流・定住を促進するためには、こうしたポテンシャルをいかした「魅力(=人をひきつける不思議な力)づくりが重要である。

#### **キーワード⑤発想を転換する(or見方やアプローチを変える)**

- 懇談会などから、「西東京市は多様な施策・事業を展開しているが、目立たない」「PRが下手」「固定的な価値観にとらわれることなく、地域資源の洗い出しと再評価、プラスの資源にするためにはどうしたらいいのかを考えるべきである」などといったご指摘がある。
- 少子高齢化という状況下においては、これまでの常識やアプローチだけでは、多世代の「希望」をかなえたり、人口をはじめとして、まちの現状推移を「転換」し、新たな成長を引き出すことは難しくなっている。
- 今後の公共サービスの提供、事業展開においては、将来人口や社会経済情勢の変化を的確に捉えながら、経営の視点に立った行政運営が必要となっている。様々な角度からのデータ分析(データを表から裏からみる)やこれまでと違う視点で各種事業を組み合わせるなど、画一的な方法に留まることのない、これまでの発想を転換した取組手法が求められている。

# ①「多世代の活力をいかす」に関連するデータ

## ●近隣市との人口比較

・西東京市の現在の人口や世帯数は北多摩5市で最も多く、今後の人口減少率や老年人口比率（2060年）も近隣市の中では比較的低い。

中分類	指標	年次	単位	北多摩5市				西東京市	23区隣接市			
				小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市		武蔵野市	三鷹市	調布市	狛江市
人口	総人口(外国人を含む)	H27	人	186,958	151,412	74,374	116,494	198,267	142,138	182,092	224,191	79,096
	人口減少率(2015→2060年)	2015→2060年	%	26.1%	12.2%	30.8%	32.5%	20.0%	29.5%	13.4%	19.3%	32.8%
	老年人口比率(2015)	2015	%	23.2%	24.8%	28.2%	27.1%	22.7%	22.7%	21.6%	21.8%	25.3%
	老年人口比率(2060)	2060	%	40.3%	36.9%	41.4%	39.3%	39.0%	44.7%	41.2%	39.6%	44.3%
世帯	世帯数	H22	世帯	81,683	63,902	30,897	49,151	87,351	71,163	89,814	107,798	39,144
	平均世帯人員	H22	人	2.22	2.34	2.32	2.35	2.22	1.92	2.03	2.04	2.00
昼夜間人口	昼夜間人口比率	H22	—	88.8%	81.6%	83.4%	80.1%	80.0%	110.5%	89.4%	87.7%	74.9%
出生	合計特殊出生率(H25)	H25	—	1.41	1.27	1.26	1.31	1.24	1.14	1.15	1.27	1.14
結婚	未婚率(男性30-34歳)	H22	%	47.1%	49.3%	48.3%	53.0%	46.8%	57.3%	46.5%	48.9%	48.4%
	未婚率(女性30-34歳)	H22	%	34.8%	36.8%	37.4%	36.9%	36.2%	49.0%	40.0%	38.3%	40.7%
子供	子供が2人世帯割合(N=子あり世帯)	H22	%	48.4%	47.9%	48.1%	47.8%	47.5%	44.9%	46.3%	46.2%	46.9%
移動	転入率	H25	%	5.4%	3.9%	4.6%	4.8%	5.0%	8.0%	6.4%	6.2%	7.0%
	純移動数(H25)	H25	人	540	-514	349	705	-250	1,484	75	118	794
	純移動数(25-39歳:H25)	H25	人	50	-434	85	171	-514	218	-357	-485	129

平均より高い項目      平均以下の項目

## ●各世代の結婚・就業・起業・活動への希望（ニーズ）

・結婚、就業、起業等について、市民の希望（市民意識調査）と現状（統計）とを比較するとギャップがある。

このギャップは、今後の潜在ニーズ、まちづくりのポテンシャルとしてとらえることができる。

n:実数 率:%	希望(市民意識調査より)				現状(統計データより)		ギャップ(希望-現状)	
	(n)	結婚希望率	就業希望率	起業関心率	既婚率	就業率	既婚率	就業率
TOTAL	2004	94.6	66.2	29.7				
男性・18~29歳	58	89.7	84.5	39.7	11.0%	55.6%	78.7%	28.9%
男性・30~39歳	103	91.3	97.1	32.0	50.8%	76.0%	40.5%	21.1%
男性・40~49歳	138	—	95.7	37.0	66.2%	81.7%	—	14.0%
男性・50~59歳	121	—	97.5	33.1	74.1%	82.6%	—	15.0%
男性・60~74歳	211	—	63.0	31.3	80.8%	54.2%	—	8.9%
男性・75歳以上	103	—	28.2	25.2	80.3%	15.8%	—	12.4%
女性・18~29歳	86	95.3	80.2	20.9	16.5%	57.4%	78.9%	22.8%
女性・30~39歳	142	98.6	90.8	29.6	63.6%	52.8%	35.0%	38.0%
女性・40~49歳	219	—	90.0	32.9	72.9%	58.1%	—	31.9%
女性・50~59歳	163	—	82.8	32.5	75.1%	59.1%	—	23.7%
女性・60~74歳	214	—	48.6	27.6	68.7%	29.6%	—	19.0%
女性・75歳以上	137	—	12.4	17.5	34.3%	6.0%	—	6.4%

※「結婚希望率」既婚および結婚意向者の割合。

「就職希望率」現在働いている人および、現在働いていないが市内・市外のいずれかで就業希望をもつ人の割合。

「起業関心率」起業・創業に関心がある人の割合。

※性年代の無回答は非表示。

※18-29の既婚率・就業率については20-29歳の値を近似値として使用

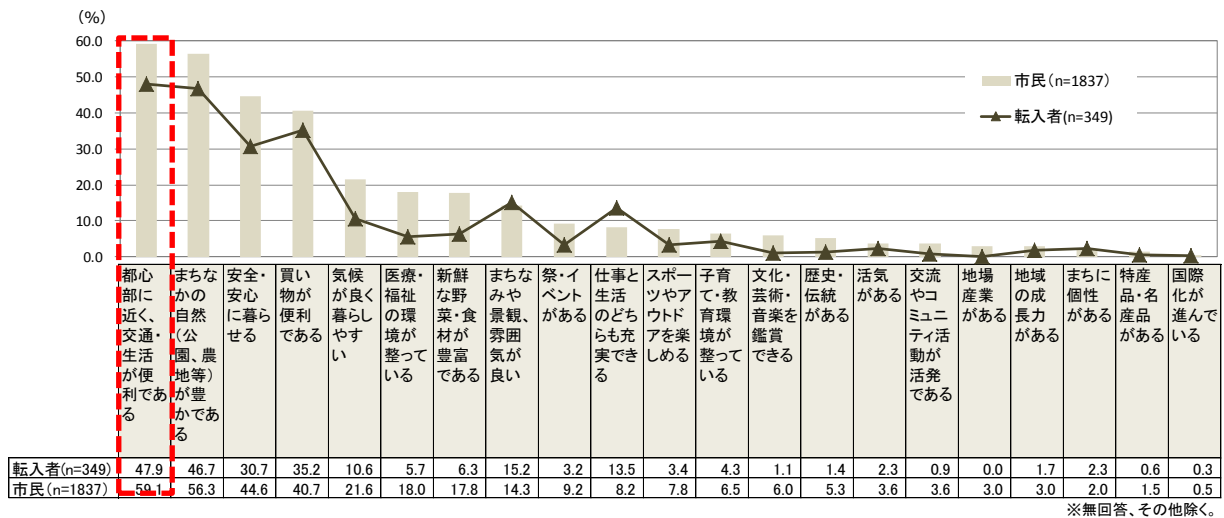
## ② 「アクセスのよさを強みにする」に関連するデータ

### ● 駅・街道・市内交通の状況

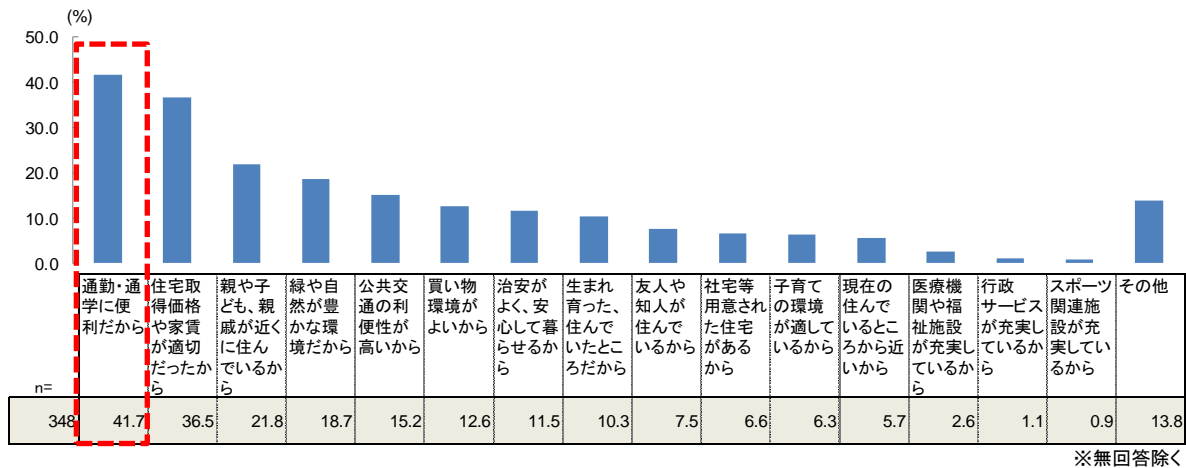
- ・都心（池袋・新宿）につながる西武鉄道 2 路線・5 駅
- ・1 日約 4 万台の交通量がある青梅・新青梅街道
- ・市内 8 割の地域が駅から 15 分圏内

### ● アクセスへの高い評価

・西東京市のイメージとしてアクセスの利便性が 1 位にあげられる。（市民意識調査、転入者調査）。



・転入者にとって、アクセス利便性は西東京市への転入の決め手となっている（転入者調査）。



### ● さまざまなアクセシビリティ（施設、サービス、etc：ワークショップ等から）

・ワークショップ等では、都心アクセスだけでなく、食や教育・学習施設へのアクセシビリティを評価する意見もある。

通勤・通学	都心から適度に離れているのがよい／始発電車がある
食	安全・安心で新鮮な食がある（農家直売）／おいしい菓子屋・パン屋が多い
学習	駅から歩いて行ける図書館が多い・充実している
教育	小学校を開放しているのはよい／公民館のロビーは子どもの居場所になっている

### ③「切れ目をつなく」に関連するデータ

- さまざまな切れ目の指摘（ワークショップ等より）

道路・交通	南北へのアクセスがいま一つ／自転車利用者が多いが配慮が足りない
みどり	練馬・武蔵野とも連携して地産地消を
産業	よいレストランがない／夜帰って利用できる定食屋少ない／遊びに来て食べて帰れない
子育て	産婦人科少ない／夜間小児対応できる病院少ない／子や孫とソトで遊ぶ場所少ない
活動	イベントスペースが少ない／異業種交流やインキュベーションの機能が乏しい
交流	PTAと地域住民の交流がない／高齢者や新住民との交流難しい／近所づきあい薄い
情報発信	引越しを決める際の情報が不足／歴史があるのに知られてない／市のHPがわかりにくい

- ライフコースの切れ目

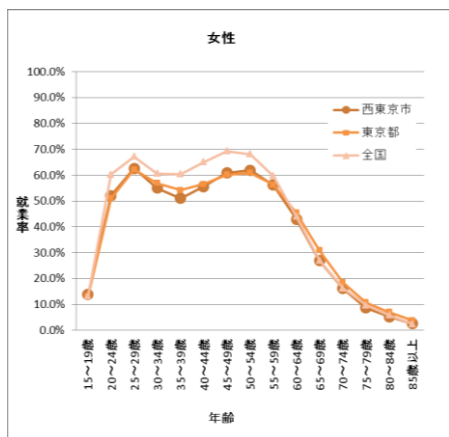
- 若者は結婚を機に市外へ（ライフステージ別の市内への居住意向：市民意識調査、18～39歳）
- ・ライフステージに応じて住みたい場所を聞くと、若者は「結婚」だと西東京市選択が少なくなる。

n=	西東京市	近隣区市部	23区内 (練馬区除く)
就職したら	87 50.6	12.6	32.2
結婚したら	167 28.7	22.8	39.5
(次の)子どもができたら	241 45.6	20.3	24.9
高齢になったら	360 43.3	14.7	15.3

※無回答除く。  
※「就職したら」未就業者にのみ聴取  
「結婚したら」未婚の方のみ聴取  
「子どもができたら」子どもを持ちたい方のみ聴取  
「高齢になったら」・全員に聴取

- 女性は出産を機に離職へ

- ・女性就業率をみると、西東京市はM字カーブの谷が深く、出産を機とした離職が多いと想定される。



指標	年次	単位	北多摩5市				西東京市	23区隣接市				順位	
			小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市		武蔵野市	三鷹市	調布市	狛江市		北多摩5市内隣接市
女性25～39歳就業率	H22	%	55.2%	51.7%	60.0%	59.7%	55.8%	60.3%	57.6%	59.3%	60.7%	3	5
女性35～39歳就業率	H22	%	50.1%	48.4%	55.6%	56.3%	51.0%	54.4%	52.1%	53.9%	54.9%	3	5

若者 WEB 調査データ挿入予定  
(女性 25-39歳の希望する働き方)

- 転出入者は地域とのつながり薄い（居住年数別参加活動および今後の意向：市民意識調査結果）

- ・市民のサークルや社会活動への参加意欲は高いが、居住年数が浅いと現状と意向のギャップが大きい。

	(n)	現在の活動参加率(%)			今後の活動参加意向率(%)			ギャップ(ポイント: 意向率-参加率)		
		地域活動	サークル活動	社会活動	地域活動	サークル活動	社会活動	地域活動	サークル活動	社会活動
TOTAL	1857	18.3	15.5	3.3	21.2	36.5	19.4	-2.9	-21.0	-16.2
居住20年以上	913	19.3	19.6	4.8	22.6	36.6	19.1	-3.3	-17.0	-14.2
居住10年～20年未満	422	18.7	14.0	2.8	20.9	39.1	23.9	-2.1	-25.1	-21.1
居住10年未満	504	16.7	9.5	1.0	19.2	34.7	16.7	-2.6	-25.2	-15.7

※「地域活動」 自治会・町内会、防犯・防災・交通安全・消防団、PTA・父母会、老人クラブ、青少年育成活動。

「サークル活動」 子育てサークル、芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動。

「社会活動」 環境保護・清掃美化運動、高齢者や障害者のためのボランティア活動、国際交流活動等。

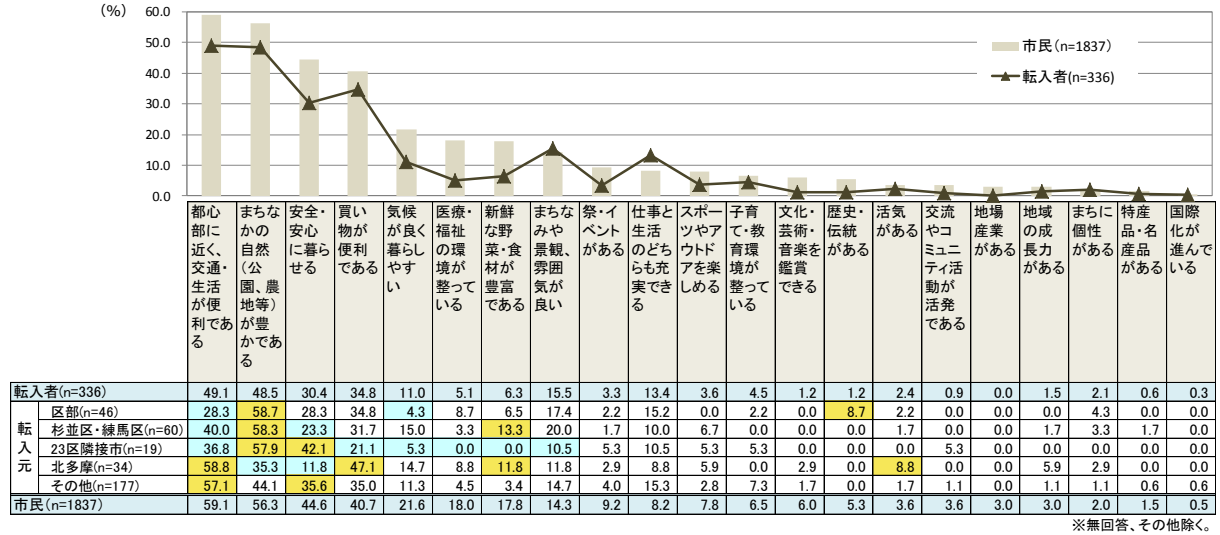
※母数は、調査全回答者2004sから「地域活動への参加状況と今後の参加意向」の無回答147sを除く。

※居住年数の無回答(18s)は非表示。

#### ④「魅力をつくる」に関連するデータ

●都市イメージ（西東京市のイメージ：市民意識調査および転出入者調査結果より）

・西東京市のイメージとしては、アクセスの利便性のほかに、「まちなかの自然が豊か」なイメージが強い。



●各種指標より

・西東京市は住宅都市としてだけでなく、商業や産業の集積地、教育・学習都市としての顔も有する。

大分類	中分類	指標	年次	単位	北多摩5市				西東京市	23区隣接市				順位	
					小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市		武蔵野市	三鷹市	調布市	狛江市	北多摩5市内	23区隣接市
住む	地価	住宅地の平均地価	H26	円/㎡	224,300	181,800		183,600	257,100	420,900	343,200	316,400		1	4
		民間の借家の割合	H22	%	25.2%	18.5%	18.6%	18.2%	23.5%	32.0%	32.0%	31.2%	31.7%	2	5
費やす	小売業	事業所数:卸売業,小売業	H24	事業所	1,105	868	452	726	1,252	1,970	1,057	1,591	457	1	3
		年間商品販売額	H19	百万円	132,419	98,109	37,612	95,587	131,064	281,475	129,052	196,391	40,655	2	3
	事業所	M宿泊業,飲食サービス業	H24	事業所	613	554	251	307	723	1,334	611	968	243	1	3
		N生活関連サービス業,娯楽業	H24	事業所	449	400	212	259	579	691	416	616	191	1	3
		O教育,学習支援業	H24	事業所	232	134	80	129	236	351	192	282	72	1	3
		P医療,福祉	H24	事業所	421	350	202	282	534	618	477	600	170	1	3
働く	事業所	事業所数	H24	事業所	4,491	3,677	1,840	2,900	5,103	7,560	5,348	6,554	2,078	1	4
		G情報通信業	H24	事業所	58	34	15	41	90	225	129	153	40	1	4
育てる	保育	L学術研究,専門・技術サービス業	H24	事業所	182	139	76	105	209	358	279	319	82	1	4
		従業者数	H24	人	48,394	35,355	18,072	26,894	48,271	87,590	57,640	72,564	17,712	2	4
	従業者	I卸売業,小売業	H24	人	9,426	7,425	2,985	6,753	10,359	16,571	10,260	16,543	3,927	1	3
		M宿泊業,飲食サービス業	H24	人	5,086	4,217	1,778	2,658	5,453	16,637	4,916	8,785	1,578	1	3
		N生活関連サービス業,娯楽業	H24	人	2,384	2,006	1,082	1,224	3,531	4,542	1,975	3,866	927	1	3
		O教育,学習支援業	H24	人	4,675	1,240	995	1,125	3,157	7,226	3,520	5,602	645	2	4
P医療,福祉	H24	人	7,297	7,513	6,342	4,201	8,021	8,832	10,138	8,992	3,207	1	4		
育てる	保育	就学前児童人口	2014/4/1	人	9,748	7,519	3,457	5,498	9,827	6,719	8,959	11,678	3,545	1	2
学ぶ	小学校	小学校児童数	H26	人	9,740	7,541	4,137	5,796	9,266	6,870	8,413	11,113	3,183	2	2
		中学校	中学校生徒数	H26	人	4,929	4,249	1,906	2,882	4,350	4,110	3,981	5,728	1,316	2
	スポーツ	総合型地域スポーツクラブ数	H26.7	一	1	2	0	1	2	0	2	1	0	1	1
学ぶ	図書館	蔵書数	H25	冊	59,777	39,207	23,407	35,056	72,036	93,619	75,312	156,571	21,543	1	4
		館外貸出図書数	H25	冊	1,509,053	1,104,593	600,846	880,765	2,212,808	2,326,533	1,427,534	2,795,737	489,074	1	3
	生涯学習	社会教育施設数	H25	施設	24	13	10	6	13	4	9	21	3	2	2
		社会教育事業数	H24	事業	157	121	129	51	278	141	89	295	37	1	2
癒す	医療	人口10万人当たり一般診療所数	H22	施設	69.5	59.9	59.4	54.9	71.8	142.0	69.9	86.3	66.0	1	3
		保健福祉	介護老人福祉施設定員数	H25	人	583	855	514	369	628	322	337	489	134	2
交わる	保健福祉	介護老人保健施設定員数	H25	人	250	474	265	150	430	168	371	375	0	2	1
		NPO数	H27.7月	団体	89	64	27	63	82	95	84	103	39	2	4

平均より高い項目 (黄色) 平均以下の項目 (青)

## <取組 柱のイメージ>

先の視点を踏まえ、本格的な西東京市における人口減少社会の到来に対し、総合戦略で取組むべき事項としては、下記のような取組が考えられる。

### 取組 1 定住者、交流人口の増加のために、まちの魅力を高める キーワード②/④ ～地域資源を再評価し、まちの魅力を高める～

交流・定住を促進するために、評価の高い市内のみどりやアクセスのよさなどの多彩な地域資源を活用してまちの魅力をつくり、「住みたい」「訪れたい」「住み続けたい」気持ちを高める取組を進める。

### 取組 2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる キーワード①/③

若い世代及び年少人口が減少・流出する中で、地域の次世代を担う層の出生率向上や、若者の回帰・定住促進のために、若い世代の結婚・出産・子育てを切れ目なく支援する取組を進める。

### 取組 3 地域に根差した産業を活性化させる キーワード①/③ ～働ける人たちの希望に沿う（職住近接、地域産業など）～

若い世代が求める魅力ある産業、子育て期の女性の就労ニーズ、働き盛り世代の起業ニーズなどを、アクセスのよさをいかしつつ、希望する働き方をかなえるための就労支援や、地域の特徴をいかした産業の活性化へつなげる取組を進める。

### 取組 4 少子高齢社会に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る キーワード①/③ ～だれもが安心・健康・快適にらせる地域づくり～

超高齢化社会の到来に対応し、だれもが安心して、いつまでも健康で元気に、地域の中で快適に暮らし、あわせて切れ目なく地域コミュニティに参加していけるよう、多世代交流の地域づくりの取組をより一層進める。



### Ⅲ 取組 1～取組 4 における現状と課題（まとめ）

## 取組 1 定住者、交流人口の増加のために、まちの魅力を高める ～地域資源を再評価し、まちの魅力を高める～

#### ■ 現状と課題

（既存の統計・調査より）

- ▶ 本市の人口密度および宅地面積比率は北多摩トップ。本市の 1 住宅当り延べ面積、持ち家比率は北多摩で 3 位。空き家率は低い。住宅都市としての一定の評価と需要を確保している。
- ▶ 図書館の蔵書数、館外貸出図書数、館外貸出図書数の人口比率は多摩 26 市の中でも 6 位、北多摩 5 市の中では圧倒的に多い（約 2 倍以上）。また、社会教育事業数も北多摩 5 市の中ではダントツでトップ。【関連データ①】
- ▶ 一人当たり公園面積比率は多摩地区の中では低い。農地も練馬区や 23 区隣接市の中では多いが、北多摩 5 市の中では面積・構成比とも多くはない。【関連データ②】
- ▶ 首都圏における市の認知は、多摩 26 市中 23 位と低い。【関連データ③】

（市民意識調査結果等より）

- ▶ 転入の決め手として「緑や自然が豊かな環境」は上位にあがり、農業および農地の保全是住宅都市の魅力の一つとして重要。一方、転出する人は、買い物環境の利便性が転入の決め手として上位にあがる。【関連データ④】
- ▶ 若い世代は就職時を除くライフステージ全般で市内の居住意向が高い。この市内で育った若い世代が将来的に戻ってきたいと思えるまちのイメージづくりが重要。【関連データ⑤】
- ▶ 西東京市のイメージは、「祭・イベント」や「活気」、「成長力」、「歴史・伝統」、「文化・芸術・音楽」など、まちの個性を表す要素のイメージ弱い。【関連データ⑥】
- ▶ 若い世代が暮らしたいまちのイメージとして、「祭りやイベント」「スポーツやアウトドア」等も重要。【関連データ⑥】
- ▶ 西武線沿線自治体と比較しても、西東京市で思い浮かぶイメージが少ないか。【WEB 調査で確認予定】

（懇談会より）

- ▶ 西東京市ブランド等、これまでの広報政策は非常に弱い。地域資源として一つ一つはよいが大きな房として見えてこない。【第 1 回】
- ▶ イベントは大々的ではなくても、各町で開催される小さなお祭りなどを連携したイベント等も考えられる。【第 2】
- ▶ 世代を超えて定住するまちとして、故郷と思えるまちにする、などを目指しても良い。【第 2 回】
- ▶ 西武線は都心や他路線へ乗り入れたため、本市は便利な場所とのイメージがついてきた。【第 1 回】
- ▶ 都心等へのアクセスが良い場所であればこそ、広域で取り組む視点が必要。【第 2 回】

(関連データ：人口ビジョン掲載データ以外)

① 社会教育事業数 (東京都統計年鑑平成 25 年度)

地域		施設数	学級・事業数							
			総数	学級・講座(対象別学級数)						
				計	高齢者	女性	家庭教育	青年	少年	成人・一般
区部	練馬区	13	677	606	2	0	77	4	512	11
23区近隣市	武蔵野市	4	141	109	2	4	3	21	40	39
	三鷹市	9	89	69	14	0	1	0	11	43
	調布市	21	295	169	16	0	30	9	31	83
	狛江市	3	37	17	4	5	0	1	6	1
北多摩5市	小平市	24	157	85	2	7	14	3	13	46
	東村山市	13	121	18	2	2	1	0	2	11
	清瀬市	10	129	76	12	7	0	0	0	57
	東久留米市	6	51	25	0	0	4	0	0	21
	西東京市	13	278	164	5	10	13	10	57	69

注) 施設数は、平成25年5月1日現在。

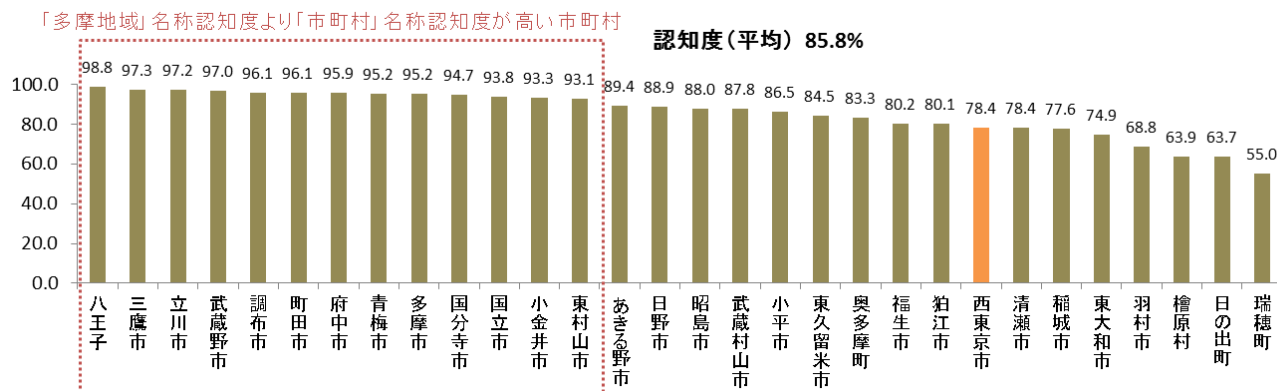
② 地域別土地利用面積 (東京都統計年鑑平成 25 年度)

地域		総数							総数						
		(単位ha)	(うち)						(単位%)	(うち)					
			宅地	公園等	農用地	水面 河川 水路	森林	原野		宅地	公園等	農用地	水面 河川 水路	森林	原野
区部	練馬区	4818.4	3020.0	267.4	248.0	27.7	5.1	0.7	100.0	62.7	5.5	5.1	0.6	0.1	0.0
23区近隣市	武蔵野市	1076.5	729.4	67.3	35.1	6.3	1.1	0.2	100.0	67.8	6.3	3.3	0.6	0.1	0.0
	三鷹市	1645.5	1025.8	70.2	167.3	19.7	10.2	1.9	100.0	62.3	4.3	10.2	1.2	0.6	0.1
	調布市	2160.3	1162.0	193.0	154.0	48.4	43.8	64.5	100.0	53.8	8.9	7.1	2.2	2.0	3.0
	狛江市	642.9	367.1	23.5	41.0	18.8	6.8	35.6	100.0	57.1	3.7	6.4	2.9	1.1	5.5
北多摩5市	小平市	2045.5	1213.4	153.5	207.3	7.3	34.8	2.4	100.0	59.3	7.5	10.1	0.4	1.7	0.1
	東村山市	1715.0	952.1	99.0	179.2	17.0	80.4	21.9	100.0	55.5	5.8	10.4	1.0	4.7	1.3
	清瀬市	1012.0	488.9	28.1	222.0	8.1	37.8	17.3	100.0	48.3	2.8	21.9	0.8	3.7	1.7
	東久留米市	1289.4	689.6	50.2	184.7	7.9	36.1	8.1	100.0	53.5	3.9	14.3	0.6	2.8	0.6
	西東京市	1590.9	954.3	70.9	171.8	4.5	13.7	2.2	100.0	60.0	4.5	10.8	0.3	0.9	0.1

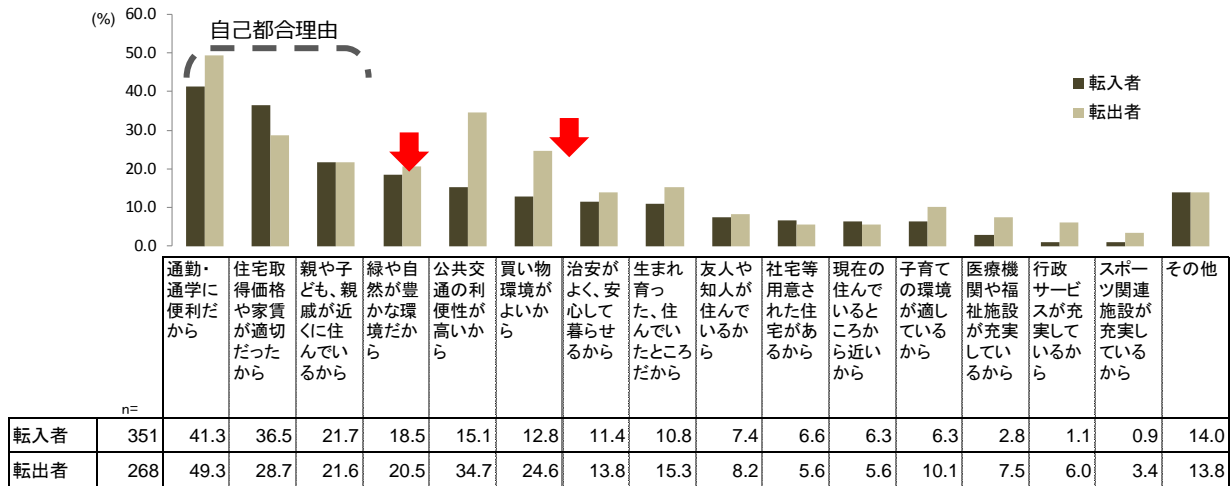
注) 区部は平成23年、市部、郡部、島部は平成24年の調査結果。

③ 多摩地域外在住者の「市町村」名称認知度 (東京都市長会「多摩地域の認知調査」H25.9 実施)

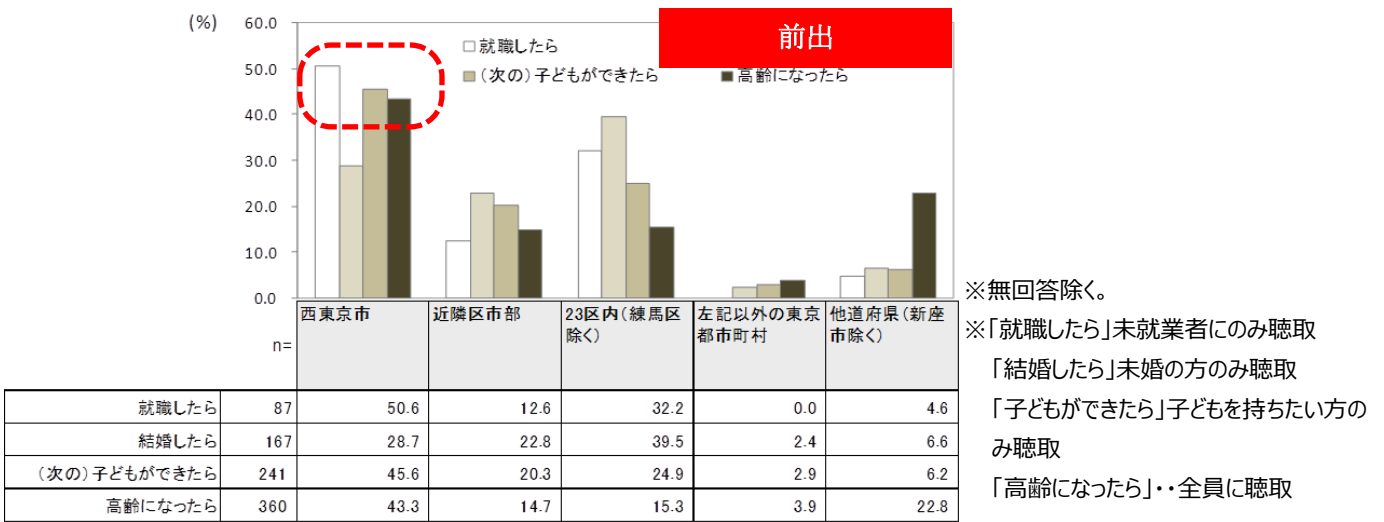
(「行ったことがある(住んだことがある)」と「行ったこと(住んだこと)はない、が名称は知っている」の合計%)



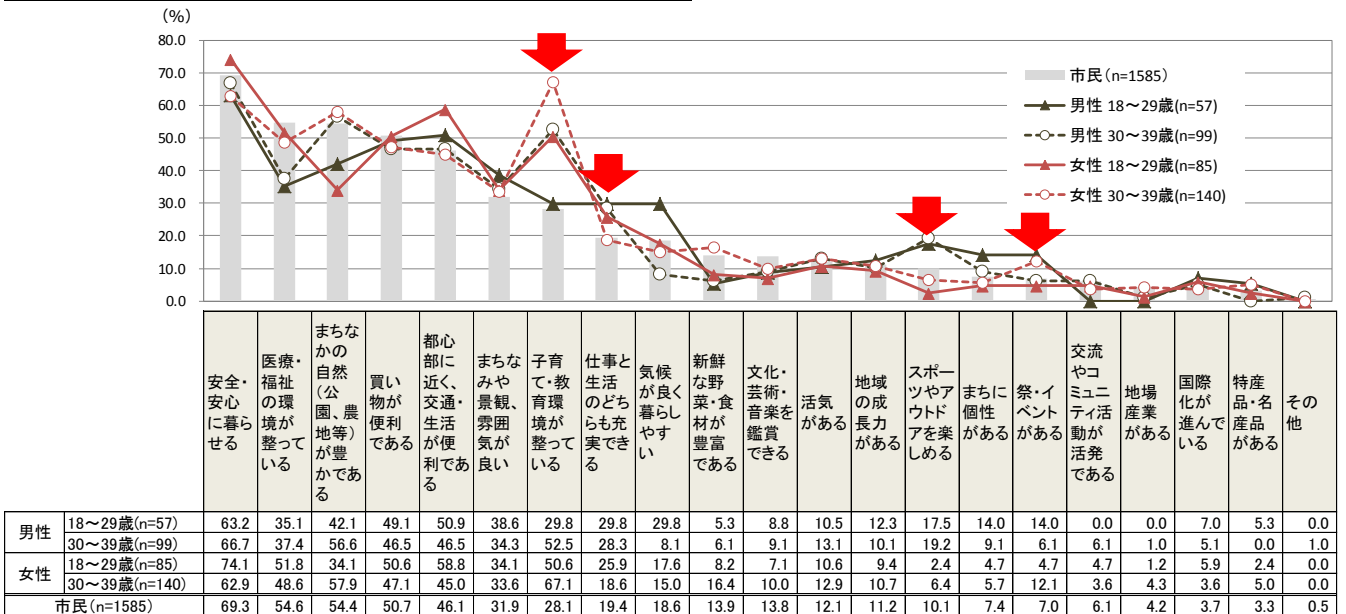
④ 転入・転出の決め手 (転入者調査、転出者調査)



⑤ ライフステージ別の市内への居留意向 (市民意識調査、18~39歳)



⑥ 若い世代の暮らしたいまちのイメージ (市民意識調査)



■ 関連施策・事業

第2次基本構想・基本計画 = <総>、産業振興マスタープラン中期計画 = <産>、住宅マスタープラン = <住>

対策内容	
1-1	<p><b>地域資源の再評価と、多世代に評価されるまちの魅力の発信</b></p> <p>&lt;理由・考え方&gt;                      交流・定住を促進するために、西東京市が、住宅都市としての魅力や強みのほか、商業や産業の集積都市、教育・学習都市などさまざまな面で魅力をもつ都市として認知されるよう、地域資源を再評価しつつ、多世代をターゲットとして、まちの魅力の発掘・発信に取り組む。</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいーな」を活用した地域振興及び地域の魅力発信事業の推進（企画政策課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・まちの魅力向上事業の推進（情報推進課、企画政策課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・散策ルートの調査・研究（みどり公園課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・文化財の保存・活用事業の充実（社会教育課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・一店逸品事業の推進（産業振興課） ..... &lt;総&gt;</li> </ul> <p>・多摩六都科学館の魅力向上 ..... &lt;多摩六都広域連携プラン&gt;</p> <p>・共同スポーツイベントの推進 ..... &lt;多摩六都広域連携プラン&gt;</p>

1-2	<p><b>「まちなかの自然（公園、農地、屋敷林等）が豊かである」イメージの維持</b></p> <p>&lt;理由・考え方&gt;                      まちの魅力として評価されている「まちなかの自然が豊か」というイメージを守りつつ、魅力として高めるために、公園・景観・農地等のみどりの保全・活用を進めるとともに、近隣市とも連携した地産地消の取組、都市のアメニティを高める取組などと連携させ、「都市のゆとりや潤い、アメニティの高さ」というイメージや価値の提供につながるようにする。</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;</p> <p>●公園・景観・農地等のみどりの保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の保全と宅地化される農地の適正な誘導（産業振興課） ..... &lt;住&gt;</li> <li>・農とのふれあい散歩道づくり（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・花摘みの丘の活用（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・農のアトリエ「蔵の里」の活用（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・東大生態調和農学機構との連携（産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・緑のアカデミー事業の実施（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・市民農園の新しい展開（産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・農業体験農園の推進（産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・農業景観散策会の実施（産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・援農ボランティアの活用（産業振興課） ..... &lt;総&gt;</li> </ul>
-----	---

- ・西原自然公園の植生・管理（みどり公園課） ..... <総>
- ・下保谷四丁目特別緑地保全事業の実施（みどり公園課） ..... <総>
- ・公園ボランティアとの協働（みどり公園課） ..... <総>
- ・良好な景観整備の推進（都市計画課） ..... <総>

●地産地消の推進

- ・地産地消の推進（産業振興課） ..... <総>
- ・市内産農産物活用事業の実施（産業振興課） ..... <産>
- ・親子で野菜づくりにチャレンジの実施（産業振興課） ..... <産>
- ・めぐみちゃんメニューの推進（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... <産>
- ・地域連携型イベントの実施（商店街活性化推進事業、産業振興課） ..... <産>
- ・ファームカーを活用した即売会（マルシェ）の検討（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... <産>
- ・めぐみちゃんマーケットの開催（都市と農業が共生するまちづくり事業、産業振興課） ..... <産>

●環境にやさしい住環境の整備

- ・樹木等保存事業の実施（みどり公園課） ..... <総>
- ・花いっぱい運動の推進（みどり公園課） ..... <総>
- ・コミュニティガーデン・オープンガーデン事業の推進（みどり公園課） ..... <総>
- ・みどりに包まれた環境づくりの普及促進（みどり公園課） ..... <住>
- ・環境共生住宅の建設促進（環境保全課） ..... <住>
- ・省エネルギー住宅の建設促進（環境保全課） ..... <住>
- ・環境美化に向けた取組の推進（ごみ減量推進課） ..... <総>
- ・低公害車の普及促進（管財課） ..... <総>

1-3

「駅・街道」や「アクセスのよさ」をいかしたまちの魅力の増進

<理由・考え方>

「アクセスのよさ」を強みとして市内外に訴求し、「行動や活動のしやすいまち」というイメージづくりや価値の提供につながるように、駅・街道・市内交通をいかした取組を行う。

<既存事業におけるイメージ>

- ・西東京都市計画道路整備・要請（道路建設課） ..... <総>
- ・市道の新設改良事業の実施（道路建設課） ..... <総>
- ・ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進（都市計画課） ..... <総>
- ・はなバスの運行（都市計画課） ..... <総>
- ・自転車を活用したまちづくりに向けた調査・研究（道路管理課） ..... <総>
- ・人にやさしいまちづくりの推進、バリアフリー等助成制度の実施（都市計画課） ..... <総>

## 取組 2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### ■ 現状と課題

(既存の統計・調査より)

- 本市の合計特殊出生率は横ばいに推移。
- 39歳以下の有配偶率は、東京都全体とほぼ同じ割合で、男性は27%、女性は35%にとどまる。  
【関連データ⑦】
- 北多摩5市の中で、西東京市は「子どもが1人」の世帯の割合が近隣市よりやや多く、子どもが2人以上の世帯の割合は、最も低い。
- 本市の保育サービス利用児童数、待機児童数は北多摩トップ。現状として、待機児童数が200人前後で推移し、保育施設は不足。
- 西東京市に近い練馬区、杉並区からは大幅な転入超過があるものの、他の特別区に対しては転出超過。25歳～34歳の年代、特に女性や独身層が都心へ転出している状況がうかがえる。
- 北多摩に対しても転出超過で、特に東久留米市と小平市への転出超過がここ数年続く。年齢的には、小平市には25～39歳、東久留米市には25～44歳の転出が多い。
- 広域的には、中央線沿線は単身世帯が多く、西武線沿線は子あり世帯が多い傾向にあり、西東京市は単身世帯・子あり世帯の割合はほぼ均等にみられる。

(市民意識調査結果等より)

- 市民の結婚の意向、希望出生率は共に高く、結婚、出産を望む人が多い。【関連データ⑧、関連データ⑨】
- 既婚で子どもがいない人が求めるのは、「子育てしやすい住居やまちの環境の充実」や「自宅から近い勤め先」。既婚の子どもがいる人が求めるのは、「保育サービスの充実（保育所、幼稚園等）」。【関連データ⑩】

(懇談会より)

- 何かシンボリックなことにより、子育てがウェルカムな市であるアピールが必要。【第1回】
- 各公民館で定期的に行われている保育付き講座は、育児休暇中の母親層が学ぶことができる場となる。【第1回】
- 若者の結婚意向が高く、チャンスではないか。まちコンなどの結婚相談をしてはどうか。【第2回】
- 将来世代の子どもたちが、結婚後も親と近い距離にいられる環境も大切。【第2回】
- 人口を増やすにあたり、転入者増加も必要だが、出生率向上の取組も必要。【第2回】

(関連データ：人口ビジョン掲載データ以外)

⑦ 配偶関係別 39 歳以上人口 (平成 22 年国勢調査)

地域	39歳以下人口(人)			39歳以下人口(%)								
		男	女	男	女			女	不詳			
					未婚等	有配偶	不詳		未婚等	有配偶	不詳	
都	東京都	4,484,663	2,295,570	2,189,093	100.0	64.9	27.2	7.9	100.0	59.6	34.7	5.7
区部	練馬区	248,629	128,034	120,595	100.0	63.3	29.3	7.4	100.0	59.1	35.3	5.6
23区近隣市	武蔵野市	50,924	25,057	25,867	100.0	71.6	25.3	3.1	100.0	67.7	29.9	2.4
	三鷹市	68,751	34,899	33,852	100.0	62.8	26.8	10.5	100.0	59.0	34.1	6.9
	調布市	79,500	40,933	38,567	100.0	66.1	27.8	6.1	100.0	59.9	35.9	4.2
	狛江市	26,835	13,681	13,154	100.0	64.7	25.7	9.6	100.0	61.6	32.7	5.8
北多摩5市	小平市	63,088	32,394	30,694	100.0	68.8	27.1	4.1	100.0	62.9	34.4	2.7
	東村山市	47,931	24,455	23,476	100.0	66.9	29.8	3.3	100.0	59.9	37.8	2.2
	清瀬市	21,787	10,602	11,185	100.0	66.9	30.5	2.6	100.0	62.6	35.3	2.1
	東久留米市	34,639	17,706	16,933	100.0	70.2	29.5	0.3	100.0	61.6	38.2	0.2
	西東京市	65,919	33,897	32,022	100.0	65.7	27.6	6.7	100.0	60.2	35.7	4.1

注) 外国人を含む。 注) 未婚等には死別、離別を含む。

⑧ 西東京市民の結婚意向 (市民意識調査)

	男性		女性	
	結婚意向あり	結婚はしない	結婚意向あり	結婚はしない
西東京市	85.5%	13.3%	95.9%	4.1%
全国	86.3%	9.4%	89.4%	6.8%

※無回答・不明含む

※参考(全国)結婚に関する希望、18~34歳のため参考値

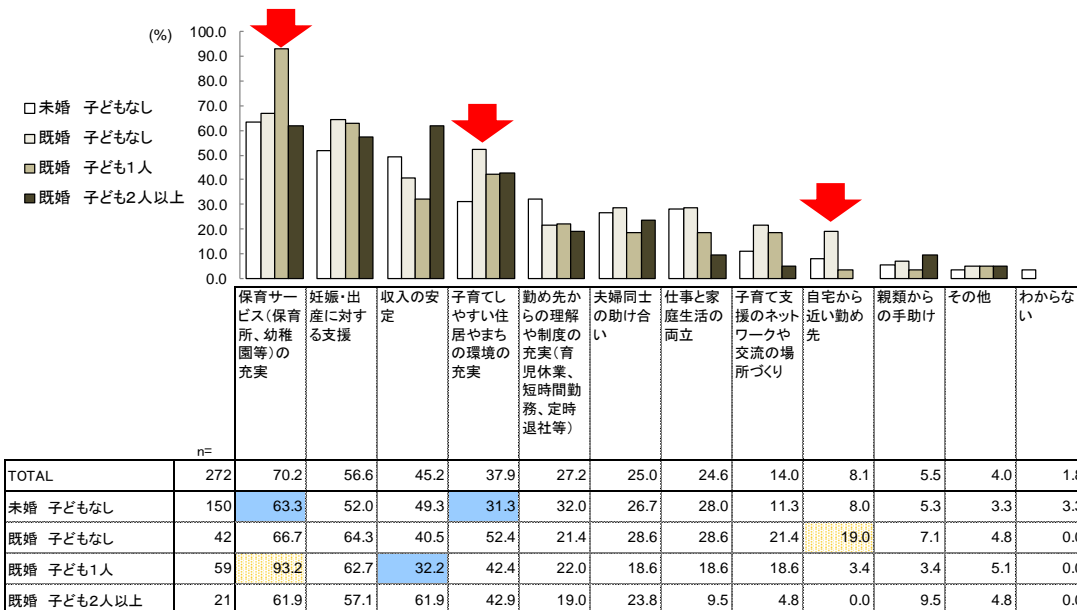
⑨ 西東京市民(女性)の希望出生率(市民意識調査結果より算出)

西東京市民の希望出生率

$$\begin{aligned}
 &= (\text{有配偶者割合 } 35.7\% \times \text{夫婦の予定子ども数 } 2.16 \text{ 人} \\
 &+ \text{独身者割合 } 64.3\% \times \text{独身者のうち結婚希望者割合 } 95.9\% \\
 &\times \text{独身者の希望子ども数 } 1.79 \text{ 人}) \\
 &\times \text{離死別等の影響 } 0.938 \\
 &= 1.76
 \end{aligned}$$

※ただし、有配偶者割合、独身者割合(いずれも女性)は平成22年国勢調査の年齢20~39歳で算出。

⑩ 希望どおりの子どもをもつために必要なこと(市民意識調査、18~39歳で子どもを1人以上持ちたい人)



※ :TOTAL と比較して 95% の信頼区間で有意に高い。 :TOTAL と比較して 95% の信頼区間で有意に低い。

■ 関連施策・事業

第2次基本構想・基本計画 = <総>、子育て・子育てワイクワシ = <子>

対策内容	
2-1	<p><b>若い世代の結婚の希望をかなえる支援</b></p> <p>&lt;理由・考え方&gt; 人口減少社会の到来により、若い世代を取り込む都市間競争はさらに激しくなると考えられる。地域の次世代を担う層の出生率向上と、若い世代の回帰・定住を促すために、若い世代が「結婚するなら西東京」そして「子どもができて西東京」と、切れ目のないサポートが得られるイメージを持てるようにする。</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症に対する正しい知識普及・啓発（健康課、教育指導課） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・小中学校での性教育の充実（教育指導課） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・性の尊重に向けた支援の検討（健康課、子ども家庭支援センター） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・「結婚するなら西東京」とのイメージPR（新規）</li> </ul>
2-2	<p><b>若い世代の出産・子育てに関する支援向上</b></p> <p>地域の次世代を担う層の出生率向上のために、若い世代の出産・子育てに関する支援を充実させる。また、「子育てしやすい」というだけでなく、「子育てを通じて自分・家族・地域が成長できるまち」として、子育てから高齢期の地域参加へと切れ目なくつなげていく視点を持って取組む。</p> <p>&lt;関連すると考えられる既存事業&gt;</p> <p>● <u>子育て支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育室の運営（子育て支援課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・母子家庭の自立に向けた支援（子育て支援課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業の実施（子育て支援課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・認定こども園への支援（子育て支援課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・待機児童対策の推進（保育課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・保育園施設の改修（保育課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・保育園の民間委託等の実施（保育課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・保育サービス第三者評価制度の実施（保育課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・学童クラブ施設の適正配置の検討（児童青少年課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・ファミリー・サポート・センターの運営（子ども家庭支援センター） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・子育て相談、交流広場、一時保育事業の実施（保育課） ..... &lt;総&gt;</li> </ul>



● 若い世代からの健康づくりの推進

- ・母子予防接種事業の実施（健康課） ..... <総>
- ・成人予防接種事業の実施（健康課） ..... <総>
- ・食育の推進に向けた取組（健康課） ..... <総>
- ・保健・福祉・医療連携体制の充実（健康課） ..... <総>

## 取組 3 地域に根差した産業を活性化する

### ～働ける人たちの希望に沿う（職住近接、地域産業など）～

#### ■ 現状と課題

（既存の統計・調査より）

- 市内の産業は、農家数や農地面積は年々減少し、商店の廃業により空き店舗がみられ、大規模工場の撤退や縮小で事業所数及び従業者数は減少傾向。
- 情報通信業の特化係数は高い。
- 昼夜間人口比率は0.80で男女ともに低く、北多摩の自治体同様に通勤・通学者が多い。なお、昼間人口および夜間人口ともに女性の比率が高い。
- 本市は女性の就業率（15歳以上人口に占める就業者人口の割合）が、結婚・出産期の30歳代で低下し、40歳代以降に上昇するいわゆるM字カーブを描いており、その谷（35～39歳）は全国および東京都の水準よりも低い。

（市民意識調査結果等より）

- 小学生以下のお子さんがある女性は、市内での就労希望が約半数（45.7%）。【関連データ⑪】
- 40歳代等の働きざかりの世代の起業・創業への関心は高い。【関連データ⑫】
- 特に、40歳代は他の年代と比べて「ワーキングスペース、シェアスペース等の提供」支援を求めている。【関連データ⑬】

（懇談会より）

- 人口は夜間人口だけではなく動的なもので、昼間人口がどのように動くかが大きい。【第1回】
- 地元の中で起業したい人の率が高く、身の丈起業などを強めていく必要がある。【第2回】
- 女性の結婚意向が非常に高いことから、職住近接で女性が安心して働ける環境をつくることが重要。【第2回】
- 西東京市の産業は商業が主体で、その中には農業も含まれる。様々な農産物が採れる農業の豊かさは本市の特徴の1つ。【第1回】
- 協働・連携は民間力を使う視点が必要。行政の外にアウトソーシングしながらよくなればよい。【第2回】
- 働く場づくりとして、教育産業、観光産業、ソフト産業等の誘致が考えられる。【第2回】
- 近郊で良い仕事があれば通いやすく住みやすいので、広域での視点も必要。【第2回】

(関連データ：人口ビジョン掲載データ以外)

⑪ 女性の市内での就労意向 (市民意識調査)

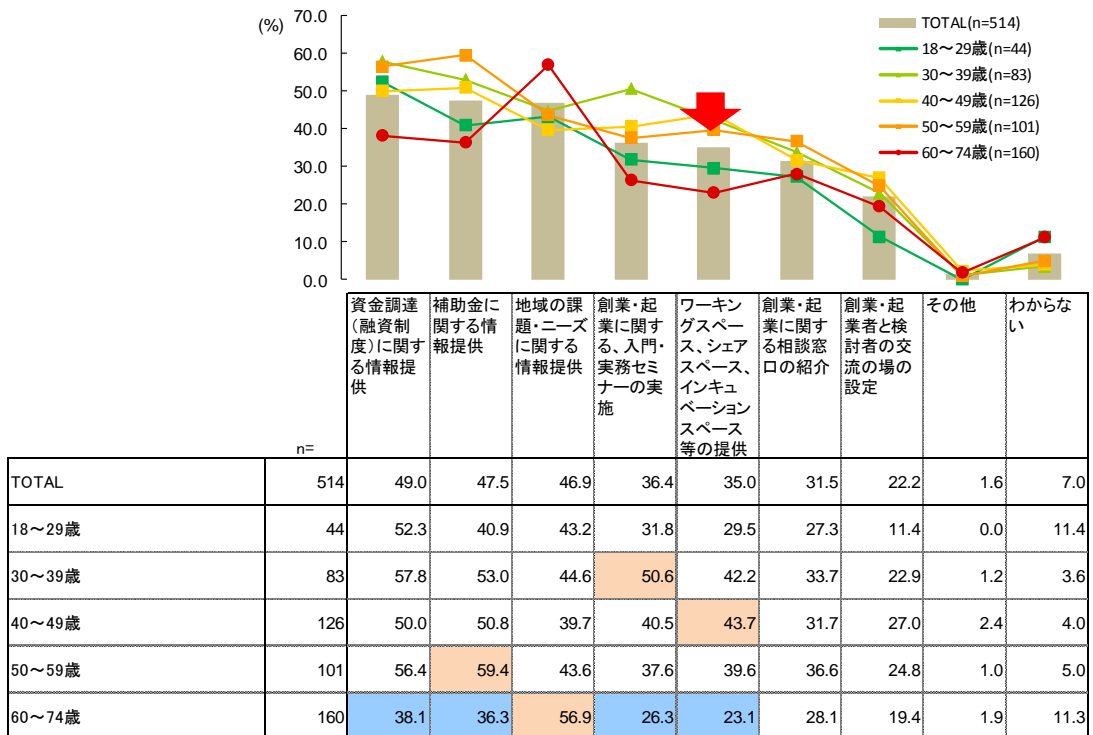
	n=	現在市内で働いている	市内で働きたい	市内では働きたくない	わからない	(%)
TOTAL	799	19.6	31.3	14.1	34.9	
小学生以下と同居	221	21.3	45.7	12.2	20.8	
中学生～高校生と同居	164	28.7	28.0	12.2	31.1	
大学生以上の年齢と同居	633	19.0	32.5	13.9	34.6	
75歳以上と同居	93	14.0	25.8	15.1	45.2	
単身世帯	67	22.4	16.4	16.4	44.8	

⑫ 年代別起業関心率 (市民意識調査)

	n=	関心がある	関心がない	(%)
TOTAL	1815	32.6	67.4	
18～39歳	403	31.8	68.2	
40～49歳	358	35.8	64.2	
50～59歳	296	34.1	65.9	
60～74歳	496	32.7	67.3	
75歳以上	262	27.9	72.1	

※無回答・不明除く

⑬ 起業するために必要な支援内容 (市民意識調査)



※ ■: TOTALと比較して95%の信頼区間で有意に高い。■: TOTALと比較して95%の信頼区間で有意に低い。

■ 関連施策・事業

第2次基本構想・基本計画 = <総>、産業振興マスタープラン中期計画 = <産>、  
 子育て・子育てワイクプラン = <子>、健康づくり推進プラン = <健康>、第3期地域福祉計画 = <地福>

対策内容	
3-1	<p><b>働きがりの世代にとって魅力ある新産業の育成</b></p> <p>&lt;理由・考え方&gt;                      都心へのアクセスのよさや北多摩5市の中での産業集積性をいかして「（産業面でも）まちの魅力やポテンシャルがある」と感じさせることでまちのイメージアップにつなげるとともに、「職住近接の希望をかなえるチャンスがある」という期待から定住や活動が促せるよう、起業・創業支援の充実などに取り組む。</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業・創業支援の充実（産業振興課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・ソフトなものづくり産業の育成支援（産業振興課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・産学公の連携（産業振興課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・（仮称）SOHO 施設設備促進の支援（産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> <li>・チャレンジショップ事業の実施（産業振興課） ..... &lt;産&gt;</li> </ul>
3-2	<p><b>女性や働き盛り世代のワーク・ライフ・バランスが実現できる環境づくり</b></p> <p>&lt;理由・考え方&gt;                      女性の出産を機とする離職や、働き盛り世代の負荷を軽減し、仕事と生活の調和を図りながら生産性を向上させていけるようにするために、関係機関や企業等（市外含む）とも連携しつつ、就業や新しい働き方・多様な働き方を支援する取組を行う。</p> <p>例）自宅の近くで仕事ができるワークスペースの確保なども含め</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と育児の両立や家族で子育てをしている親等の支援の充実（子育て支援課、子ども家庭支援センター、協働コミュニティ課） ..... &lt;健&gt;</li> <li>・子育ての不安に対応した相談体制の充実（子ども家庭支援センター、協働コミュニティ課、教育支援課） ..... &lt;健&gt;</li> <li>・市民協働推進センターによる支援（協働コミュニティ課） ..... &lt;地福&gt;</li> <li>・父親の育児参加の推進（健康課、子ども家庭支援センター、協働コミュニティ課、公民館） .... &lt;子&gt;</li> <li>・育児休業相談・啓発の実施（協働コミュニティ課） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・子育てによる離職者の再雇用制度に対する情報提供の充実（産業振興課、協働コミュニティ課） &lt;子&gt;</li> <li>・地域や家庭における食育の推進（健康課、保育課、産業振興課、学校運営課） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・子育てに関する学習機会の充実（健康課、子育て支援課、保育課、子ども家庭支援センター、公民館） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・地域の子育て意識の醸成（子育て支援課、保育課、児童青少年課） ..... &lt;子&gt;</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスに対する意識啓発の推進（子育て支援課、協働コミュニティ課） ..... &lt;健&gt;</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスを事業者へ普及する方策の検討（子育て支援課、協働コミュニティ課） .. &lt;子&gt;</li> </ul>

### 3-3 地域に根ざした産業の活性化

#### <理由・考え方>

まちの魅力であるみどりやにぎわいを担う農業や小売業、特徴的な産業などを守り・育てるために、援農ボランティア、学生・市民活動・コミュニティなど市民とも連携しつつ、地域に根差した産業の活性化を図る。

#### <既存事業におけるイメージ>

- ・効果的な支援による農業経営意欲の促進（産業振興課） ..... <総>
- ・援農ボランティアの活用（産業振興課）【再掲】 ..... <総>
- ・都市と農業が共生するまちづくり事業の実施（産業振興課）【再掲】 ..... <総>
- ・地域や商店街との連携（産業振興課） ..... <産>
- ・商店街活性化推進事業の充実（産業振興課） ..... <総>
- ・中小企業資金融資あっせん事業の実施（産業振興課） ..... <総>
- ・ハローワーク等と連携した就労情報の提供（産業振興課） ..... <総>
- ・空き店舗情報のマッチング（産業振興課） ..... <産>

## 取組 4 少子高齢社会に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

### ～だれもが安心・健康・快適にらせる地域づくり～

#### ■ 現状と課題

(既存の統計・調査より)

- 介護の可能性が高まる後期高齢者の人口が 2040 年には 17%、2060 年には 25%まで増加する予測。
- 高齢化の進展は地域別に異なり、特に、地域包括支援センター担当地域の泉町、田無町、緑町、西原町、新町は老年人口比率が上昇中。
- 将来的には、ひばりが丘三丁目をはじめ、西武新宿線沿線や保谷駅周辺で高齢化率が高まる見込み。
- 介護老人福祉施設や介護老人保健施設の定員数は 23 区近隣市の中でも、北多摩 5 市の中でも多い。
- 人口 10 万人当たり一般診療所数は北多摩 5 市の中では最も多い（ただし医師数は多くない）。
- 小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額はいずれも減少傾向が続く。

(市民意識調査結果等より)

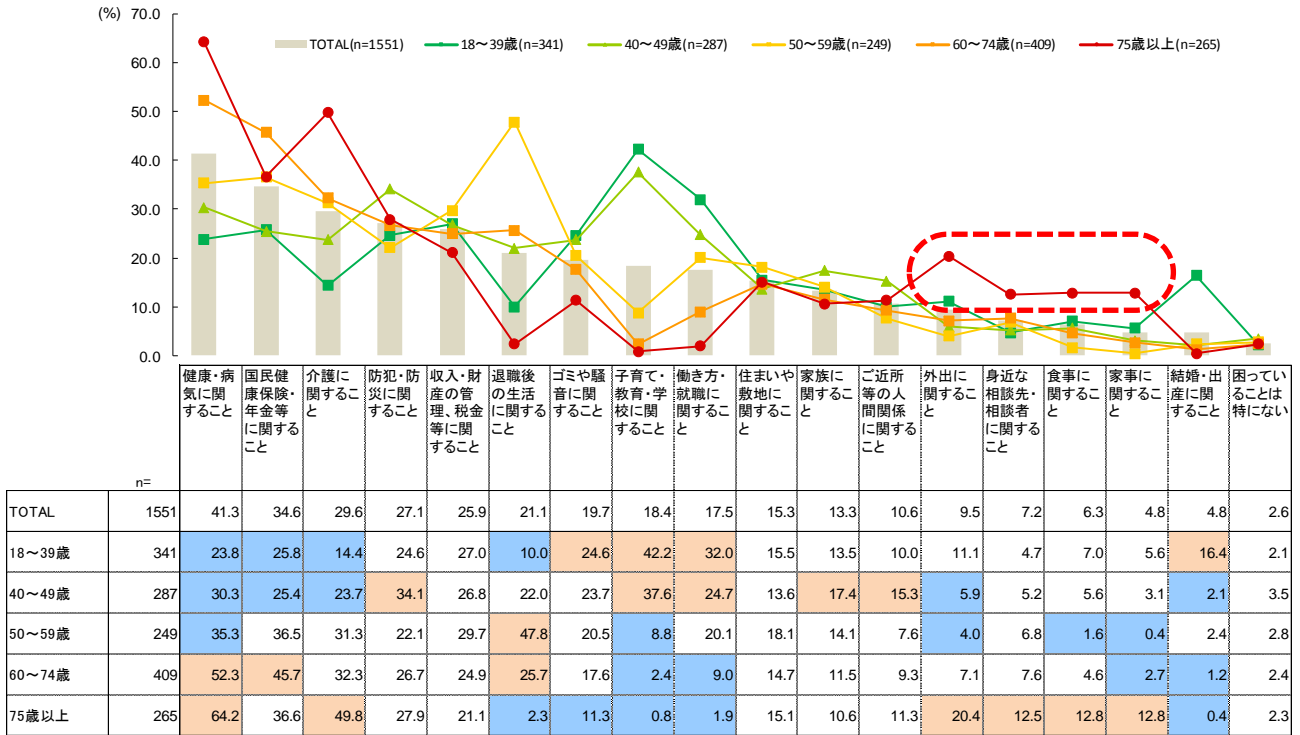
- 身近な生活環境における困りごとは、全体では健康関連（健康・年金・介護等）の項目が高く、次いで防災関連、さらに生活設計（収入・退職後）に関するものが多い。また、高齢者の場合は、これらのほかに他年代と比べて外出等の困難さを感じている高齢者も多い。【関連データ⑭】
- 高齢期の生活については、健康、防災、安全面のほか、他年代と比べて「地元の商店街」の重視度も高い。空き店舗の増加は高齢者等の生活利便性を損ねる可能性があり、暮らしやすさの 1 つとして身近な商店街等の活性化の取組が必要。【関連データ⑮】

(懇談会より)

- 市内で地域により高齢化や少子化の差が生じている。各地域の特性から、バランスを取る必要がある。【第 1 回】
- 市外からの交流人口とともに、地域間の交流人口を考えることも必要。【第 1 回】
- 75 歳以上の後期高齢者がどう増えるかが社会構造に大きな影響を持つ。【第 1 回】
- 5 つの駅がある本市の特徴は、買い物環境を維持する視点で強みではないか。【第 1 回】
- 新しい住民が多いが繋がりが弱く、同時に商店会の繋がりが弱いことから、まち自体に活気がないのではないか。【第 2 回】
- 資源や人と人など、繋ぎ合わせる人や力がないことが弱み。【第 2 回】

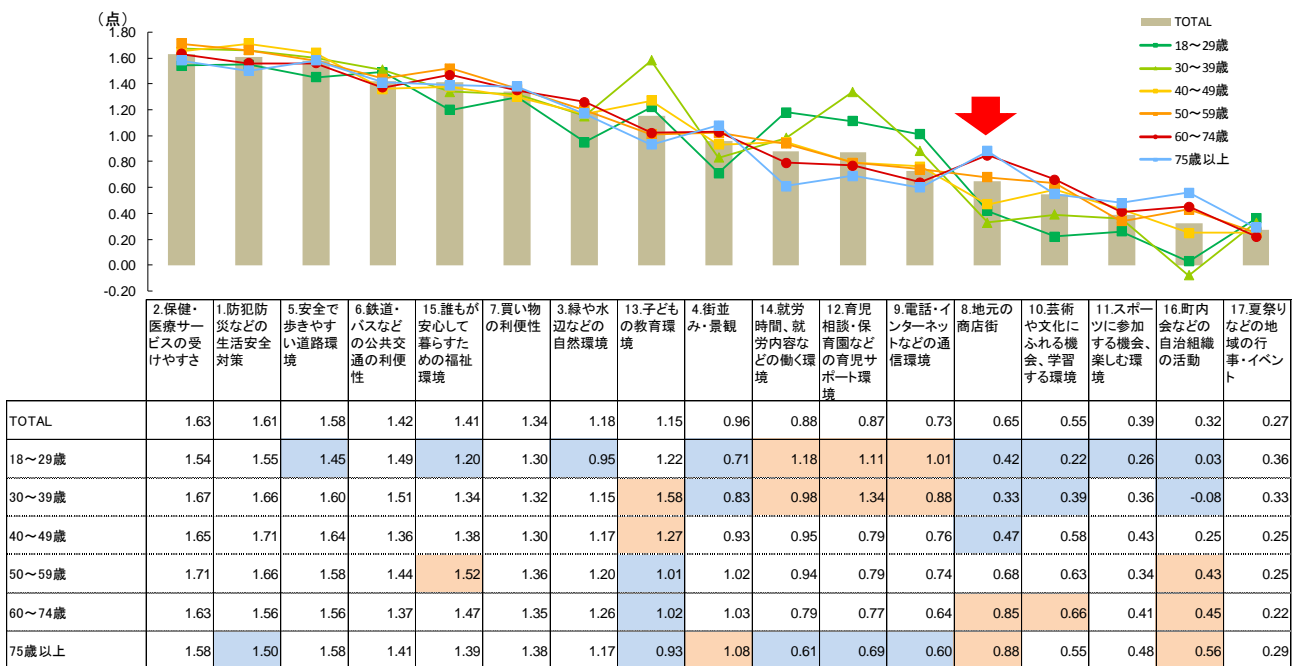
(関連データ：人口ビジョン掲載データ以外)

⑭ 身近な生活環境における困りごと (市民意識調査)



※ ■: TOTAL と比較して 95% の信頼区間で有意に高い。■: TOTAL と比較して 95% の信頼区間で有意に低い。

⑮ 高齢者の今後の生活における重要度 (市民意識調査、平均値)



※ ■: TOTAL に対して 0.1 ポイント以上高い。■: TOTAL に対して 0.1 ポイント以上低い。

■ 関連施策・事業

第2次基本構想・基本計画 = <総>、産業振興マスタープラン中期計画 = <産>、  
健康づくり推進プラン = <健康>、第3期地域福祉計画 = <地福>

対策内容	
4-1	<p>だれもが地域で安心して暮らすための行政機能の提供</p> <p>&lt;理由・考え方&gt; 後期高齢者が倍増する超高齢化社会し、高齢者が地域で安心して暮らすための行政機能を提供する。また、人口減少や少子化に対応し、子ども、若者、女性、働き盛り世代など、だれもが安心して暮らせる包括的な地域福祉システムの構築を進める。</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの充実（高齢者支援課、生活福祉課、健康課） ..... &lt;地福&gt;</li> <li>・保健・福祉・医療をはじめ多様な分野の連携強化（健康課、生活福祉課、高齢者支援課、障害福祉課、子ども家庭支援センター） ..... &lt;地福&gt;</li> <li>・団体間の連携促進（協働コミュニティ課、生活福祉課、高齢者支援課、障害福祉課） .. &lt;地福&gt;</li> <li>・ほっとするまちネットワークシステムの推進（生活福祉課） ..... &lt;地福&gt;</li> <li>・地域コミュニティの推進（協働コミュニティ課、生活福祉課） ..... &lt;地福&gt;</li> <li>・防災コミュニティづくりの推進（危機管理室、生活福祉課、協働コミュニティ課、教育企画課、教育指導課、公民館） ..... &lt;地福&gt;</li> <li>・学校や地域による防犯体制の強化（教育指導課、危機管理室、児童青少年課） ..... &lt;地福&gt;</li> </ul> </p>
4-2	<p>いつまでも健康で元気に暮らせる健康づくりの推進</p> <p>&lt;理由・考え方&gt; 健康づくりへの関心の高まりに応えつつ、増大する医療費の抑制、老年人口の増加に伴う老人福祉費・生活保護費の増大の抑制を図るために、より一層、「健康づくり」への取組を充実させる。</p> <p>&lt;既存事業におけるイメージ&gt;  <ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの健康・自殺予防の推進（健康課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・食育の推進に向けた取組（健康課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・健康情報普及サイト事業の実施（健康課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・保険・福祉・医療連携体制の充実（健康課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・健康づくりの推進（健康課） ..... &lt;総&gt;</li> <li>・西東京しゃきしゃき体操の指導者の養成・啓発（健康課） ..... &lt;健&gt;</li> </ul> </p>



4-3

だれもが快適に暮らせる環境づくり

超高齢社会の中で、後期高齢者が買い物や移動に困ることがなく、だれもが快適に暮らせるようにするため、ハード・ソフト両面での取組を行う。

<既存事業におけるイメージ>

- ・人にやさしいまちづくりの推進、バリアフリー等助成制度の実施（都市計画課）【再掲】 ..... <総>
- ・公共交通空白地域の移動手段の確保（都市計画課） ..... <地福>
- ・買い物支援の調査・研究（産業振興課） ..... <産>
- ・生鮮4品の整備支援についての調査・研究（産業振興課） ..... <産>

4-4

少子高齢化時代の地域コミュニティの再構築

<理由・考え方>

西東京市では、転出入等による地域コミュニティとの関係の途絶が予想されるほか、少子化に伴う子育てつながりの減少、高齢化に伴う地域活動の停滞などが懸念される。

多世代で活力あるまちづくりを進めるために、高齢者の地域参画を進めるとともに、若者の結婚・出産・子育てや、女性や働き盛り世代のワークライフバランスの実現などと絡めつつ、多世代が切れ目なく地域との接点やかかわりを持ち、地域活動への参加の階段をあげていく包括的な取組を進める。

<既存事業におけるイメージ>

- ・地域デビューの支援（生活福祉課、協働コミュニティ課、公民館） ..... <地福>
- ・出会いの場・協議の場の確保（生活福祉課） ..... <地福>
- ・地区会館等の活用（生活福祉課、公民館） ..... <地福>
- ・空き家等を活用した活動拠点の発掘（生活福祉課） ..... <地福>
- ・福祉施設の地域開放（生活福祉課、高齢者支援課、障害福祉課） ..... <地福>
- ・地域活動への参画推進（生活福祉課、高齢者支援課、協働コミュニティ課） ..... <地福>
- ・ふれあいのまちづくり事業への支援（生活福祉課） ..... <総>
- ・地域コミュニティ推進事業の充実（協働コミュニティ課） ..... <総>
- ・ボランティア活動の参画促進（生活福祉課、公民館） ..... <地福>
- ・地域における支え合い活動の促進（生活福祉課、子ども家庭支援センター） ..... <地福>